

日本学術会議第三部 分野別委員会の組織と体制

(2010年12月28日現在)

1 分野別委員会名		環境学委員会	
分野の活動方針	社会的要請の高さ、個別分野における実体としての研究は、活発であるが、その学術的体系化や研究の全体的枠組の構築と長期的研究戦略は十分でない。それへの着実な取り組みと国民レベルでの環境認識の向上を図る。		
委員会の組織方針・基本的役割	環境学の体系的推進と対外的アピール。環境学の主要課題については、学術分野横断的に分科会を設けて審議を深め、その統括・調整を委員会が担う。		
委員会委員	(委員:19名) 進士 五十八、淡路 剛久、石川 幹子、栗原 和枝、 今榮 東洋子、飯塚 堯介、毛利 衛、池田 駿介、大垣 眞一郎、 古川 勇二、仙田 満、林 良博、鷺谷 いづみ、岸 玲子、 桑野 園子、碓井 照子、内山 巖雄、小澤紀美子、安成 哲三	委員長:進士 五十八 副委員長:石川 幹子 幹事:淡路 剛久	
分科会の設置方針・基本的役割	環境学は1～3部横断的であるので、専門(ディシプリン)別とせず、課題対応型、ならびに国際対応型の分科会を構成する。		
2 分科会等名称	目的・活動方針 ・設置期間	分科会等委員	役員等
環境科学分科会	環境学のSCIENTIFICな体系化。 環境研究の戦略的展開の為の方向と提案を検討する。	(委員:11名) 今中 忠行、井上 元 今榮 東洋子、碓井 照子、 栗原 和枝、桑野 園子、 春山 成子、藤本 彰三、 飯塚 堯介、安岡 善文、 横山 伸也	委員長:栗原 和枝 幹事:碓井 照子 幹事:安岡 善文
環境思想・環境教育分科会	環境教育の現状と改善、学校教育ならびに社会教育での環境教育の戦略的な展開のための方針の検討と提言案の策定。	(委員:19名) 小澤 紀美子、桑野 園子、 鷺谷 いづみ、大垣 眞一郎、 進士 五十八、仙田 満、 石 弘之、内堀 基光、 加藤 尚武、鬼頭 秀一、 小林 重敬、鳥越 けい子、 氷見山 幸夫、 蓑茂 壽太郎、 桃木 芳枝、阿部 治、 飯田 稔、岡島 成行、 松野 弘	委員長:小澤 紀美子 副委員長:岡島 成行 幹事:鳥越 けい子
環境政策・環境計画分科会	他委員会と連携した環境政策。計画研究の推進とそのための基礎的条件の整備方策提言。	(委員:15名) 淡路 剛久、石川 幹子、 福井 弘道、松岡 俊二、 桑野 園子、池田 駿介、 村上 周三、入倉 孝次郎、 木谷 収、佐藤 洋平、 武内 和彦、津野 洋、 寺西 俊一、花木 啓祐、 林 良嗣	委員長:淡路 剛久 副委員長:石川 幹子 幹事:福井 弘道 幹事:松岡 俊二
自然環境保全再生分科会	自然再生、生物多様性などに関する環境研究のレビューと調整、ならびに政策提言。	(委員:12名) 鷺谷 いづみ、樋口 広芳、 高村 典子、田中 和博、 林 良博、岩熊 敏夫、 加藤 真、鬼頭 秀一、 谷口 旭、三浦 慎悟、 向井 宏、森本 幸裕	委員長:鷺谷 いづみ 副委員長:樋口 広芳 幹事:高村 典子 幹事:田中 和博

1

環境学委員会

2 分科会等名称	目的・活動方針 ・設置期間	分科会等委員	役員等
環境リスク分科会 (健康・生活科学委員会合同)	環境リスクマネジメント、リスクコミュニケーション問題など国民の安全安心環境への基礎研究と実際的対策を提言する。	(委員:15名) 内山 巖雄、吉野 博、 益永 茂樹、村田 勝敬、 有蘭 幸司、浦野 紘平、 岸 玲子、實成 文彦、 清水 英佑、鈴木 晶子、 田邊 信介、丹羽 太貫、 宮下 和久、森本 兼曩、 吉村 健清	<環境学委員会> 委員長:内山 巖雄 副委員長:吉野 博 幹事:益永 茂樹 幹事:村田 勝敬
IGBP・WCRP合同 分科会 (地球惑星科学委員会合同)	地球圏－生物圏国際共同計画(IGBP)及び気候変動国際共同研究計画(WCRP)への国際対応。	(委員:31名) 安成 哲三、中島 映至、 甲山 隆司、氷見山 幸夫、 安田 喜憲、花輪 公雄、 山形 俊男、小池 俊雄、 竹内 邦良、佐藤 薫、 若土 正暁、中静 透、 沖 大幹、植松 光夫、 小川 浩史、近藤 豊、 小池 勲夫、中塚 武、 松野 太郎、三村 信男、 八木 一行、山形 与志樹、 山中 康裕、山室 真澄、 大畑 哲夫、尾瀬 智昭、 木本 昌秀、塩谷 雅人、 時岡 達志、松本 淳、 阿部 彩子	<環境学委員会> 委員長:安成 哲三 副委員長:小池 勲夫 幹事:甲山 隆司 幹事:松本 淳
MAHASRI小委員会	モンスーンアジア水文気候研究計画(MAHASRI)への対応。	(委員:27名)	<環境学委員会> 委員長:松本 淳 副委員長:里村 雄彦 幹事:鼎 信次郎 幹事:樋口 篤志
DIVERSITAS小委員会	DIVERSITAS(生物多様性科学国際協同プログラム)への対応。	(委員:8名)	<環境学委員会>
GLOBEC小委員会	GLOBEC(地球規模海洋生態系変動)への対応。	(委員: 名)	<環境学委員会>
IGAC小委員会	IGAC(地球大気化学国際共同研究計画)への対応。	(委員:15名)	<環境学委員会> 世話人:谷本 浩志
IMBER小委員会	IMBER(海洋生物地球化学と生態系の統合研究)への対応。	(委員:18名)	<環境学委員会>
SOLAS小委員会	SOLAS(海洋・大気間の物質相互作用研究計画)への対応。	(委員:18名)	<環境学委員会>
CLIVAR小委員会	CLIVAR(気候変動性・予測可能性研究計画)への対応。	(委員:19名)	<環境学委員会>
GLP小委員会	GLP(全球陸域研究計画)への対応。	(委員:19名)	<環境学委員会> 委員長:氷見山 幸夫 幹事:尾藤 章雄

2 分科会等名称		目的・活動方針 ・設置期間	分科会等委員	役員等
	SPARC小委員会	SPARC(成層圏気候影響研究計画)への対応。	(委員:15名)	<環境学委員会>
	PAGES小委員会	PAGES(古地球環境変遷研究計画)への対応。	(委員:20名)	<環境学委員会>
	Clic小委員会	気候と雪氷圏(Clic)への対応。	(委員: 名)	<環境学委員会>
	iLEAPS小委員会	統合陸域生態系-大気プロセス研究計画(iLEAPS)への対応	(委員:20名)	<環境学委員会> 委員長:八木 一行 副委員長:太田 岳史 幹事:三枝 信子 幹事:林 健太郎
今後の分科会設置方針等		必要に応じて設置する。マンパワー、会議運営上の配慮を踏まえ、コンパクトかつパワフルな分科会とする。		
当面予定している具体的活動		各分科会に連携会員の積極的参加を求め、検討・研究体制を整え、所期の目的の達成のために、分科会、委員会主導の公開講演会・研究会・シンポジウムなどを実行する。		